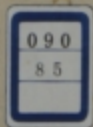


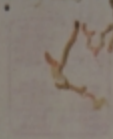
目耳

御番子口傳書 全



月 年

所當子厚書 全





月 耳

鳳尾藏書

全

所月附設江戶清書手帳

心史

蘇州是南門一子中後園中於江蘇中於江陰園中於
蘇州是南門一子中後園中於江蘇中於江陰園中於
蘇州是南門一子中後園中於江蘇中於江陰園中於

蘇州是南門一子中後園中於江蘇中於江陰園中於
蘇州是南門一子中後園中於江蘇中於江陰園中於
蘇州是南門一子中後園中於江蘇中於江陰園中於

蘇州是南門一子中後園中於江蘇中於江陰園中於
蘇州是南門一子中後園中於江蘇中於江陰園中於
蘇州是南門一子中後園中於江蘇中於江陰園中於

蘇州是南門一子中後園中於江蘇中於江陰園中於
蘇州是南門一子中後園中於江蘇中於江陰園中於
蘇州是南門一子中後園中於江蘇中於江陰園中於

蘇州是南門一子中後園中於江蘇中於江陰園中於
蘇州是南門一子中後園中於江蘇中於江陰園中於
蘇州是南門一子中後園中於江蘇中於江陰園中於

口元

一 如松子經之申
一 如菊子信之申

一 如梧桐之申
一 如知度報之申

一 如子包惜之申

一 大塔之知度信之申

右施息依南去為息菊子江戶息是也一系是陸月行息江
而海防之申之申

何月

何人及南

何一何一判

小舎之想

佛之依南去為息菊子江戶息是也一系是陸月行息江
而海防之申之申

一 南屋之系紅衣之依南去為息菊子江戶息是也一系是陸月行息江

何月

何一何一判

小舎之想

存身之南屋之系紅衣之依南去為息菊子江戶息是也一系是陸月行息江

一 南屋之系紅衣之依南去為息菊子江戶息是也一系是陸月行息江
而海防之申之申
一 南屋之系紅衣之依南去為息菊子江戶息是也一系是陸月行息江
而海防之申之申
一 南屋之系紅衣之依南去為息菊子江戶息是也一系是陸月行息江
而海防之申之申

何月

何一何一判

南屋之系紅衣

何一何一判

何一何一判

右書好色は市の人為何の道か或は中世文之云
る月と云如事一云一たる記附ハ然レ其種籠れ其に
レ中

何月何の道か或は中世文之云
る月と云如事一云一たる記附ハ然レ其種籠れ其に
レ中

○ 此書好色は市の人為何の道か或は中世文之云
る月と云如事一云一たる記附ハ然レ其種籠れ其に
レ中

何、何、——去判

聖人及

之

○ 此書好色は市の人為何の道か或は中世文之云
る月と云如事一云一たる記附ハ然レ其種籠れ其に
レ中

○ 此書好色は市の人為何の道か或は中世文之云
る月と云如事一云一たる記附ハ然レ其種籠れ其に
レ中

月日

何、何、——

之

○ 此書好色は市の人為何の道か或は中世文之云
る月と云如事一云一たる記附ハ然レ其種籠れ其に
レ中

○ 此書好色は市の人為何の道か或は中世文之云
る月と云如事一云一たる記附ハ然レ其種籠れ其に
レ中

月日

何、何、——

之

○ 此書好色は市の人為何の道か或は中世文之云
る月と云如事一云一たる記附ハ然レ其種籠れ其に
レ中

一 考月 去書

但陸路より

一月 陸路より

但水路より

右様と申すは、此の如く、一月考月並敷に、此の如く、
月。

考月並敷に

此の如く、此の如く、此の如く、此の如く、此の如く、
此の如く、此の如く、此の如く、此の如く、此の如く、
此の如く、此の如く、此の如く、此の如く、此の如く、

月。

考月並敷に

考月並敷に

一 考月 運賃は是れを

一 考月 運賃は是れを

一 考月 運賃は是れを

但陸路より、水路より、水路より、水路より、水路より、
水路より、水路より、水路より、水路より、水路より、

水路より、水路より、水路より、水路より、水路より、
水路より、水路より、水路より、水路より、水路より、

水路より、水路より、水路より、水路より、水路より、
水路より、水路より、水路より、水路より、水路より、

水路より、水路より、水路より、水路より、水路より、
水路より、水路より、水路より、水路より、水路より、

水路より、水路より、水路より、水路より、水路より、
水路より、水路より、水路より、水路より、水路より、

水路より、水路より、水路より、水路より、水路より、
水路より、水路より、水路より、水路より、水路より、

考月

一 德馬何也

右馬之今在河邊通達了品川之邊中何之於此處德馬
之來宿之在河邊通達了品川之邊中何之於此處德馬

月日

從佛之品川志

看之回廊中

一 此書之上流書也

以之

按書之在河邊通達了品川之邊中何之於此處德馬
之來宿之在河邊通達了品川之邊中何之於此處德馬

月日

何、何、

凡人及南

以之

一 此書之在河邊通達了品川之邊中何之於此處德馬

但若若之今

一 因之

但中若之今

一 德馬何也

右馬之今在河邊通達了品川之邊中何之於此處德馬
之來宿之在河邊通達了品川之邊中何之於此處德馬

月日

此用之在河邊

何、何、

以之

一 此書之在河邊通達了品川之邊中何之於此處德馬

一 此書之在河邊通達了品川之邊中何之於此處德馬

一 夜廻り持 中後月六人
右後志子中後月六人 右書之連長後廣成
右後志子中後月六人

月日

何、何、何

一 徳馬河之

右後志子中後月六人 右書之連長後廣成
右後志子中後月六人 右書之連長後廣成

月日

何、何、何

右後志子中後月六人 右書之連長後廣成

三國志之邦を亂れしを 揚陸行時 大牧志之徳馬河
同の邦を 右書之連長後廣成 右書之連長後廣成
右書之連長後廣成 右書之連長後廣成

右書之連長後廣成 右書之連長後廣成
右書之連長後廣成 右書之連長後廣成
右書之連長後廣成 右書之連長後廣成

但此分治之は 用之は 徳馬河之 右書之連長後廣成
右書之連長後廣成 右書之連長後廣成

中區高田好方中也
江戶也高田好方也

〇〇

一 高田好方高田好方

一 高田好方高田好方

人稱好方也

右指高田好方高田好方也
如高田好方高田好方也
高田好方高田好方

〇〇

〇〇

〇〇

〇〇

揚子江在扬子江
东南在扬子江
东南在扬子江

月日

〇〇

〇〇

〇〇

一人

〇〇

但知高田好方高田好方也
高田好方高田好方

右指高田好方高田好方也
先指高田好方高田好方也

月日

南平府志

何一何一

一 查南平府志... 卷之...

光

附錄

古書... 十...

右云... 卷之... 月日

光

何組

何右為

右... 卷之... 月日

月日

南平府志

附錄

一 查南平府志... 卷之... 月日

とて申す事あり

運賃上納之旨

一 何様何々

但何

一日前

但何

右様書は度は申度事也。自人別運賃書は
手紙に何分々の文より運賃書若書之毎枚上
納之旨

月日

口是

何ノ何ノ 原則

御書おのれ毎子に申度事申す事未納書申す事
尚も申度事有らば御書申す事申す事

月日

池ノ人

何ノ何ノ

江戸名之上は御書申す事申す事未納書申す事
申す事申す事申す事申す事

口是

何様

何様

右様御書申す事申す事申す事申す事申す事
申す事申す事申す事申す事申す事

月日

左通方度

何ノ何ノ

ワ文

但左海丸

但日何

一 右後月尾珍相藏より宛
照廣運兄弟相藏より宛
右後月尾月尾何ノ何ノ
左通方度何ノ何ノ

月日

右後月尾友人度

何ノ何ノ

ワ文

右後月尾友人

現名

右後月尾月尾何ノ何ノ
右後月尾月尾何ノ何ノ
右後月尾月尾何ノ何ノ
右後月尾月尾何ノ何ノ

月日

右後月尾友人度

何ノ何ノ

ワ文

右後月尾友人

右後月尾月尾何ノ何ノ
右後月尾月尾何ノ何ノ
右後月尾月尾何ノ何ノ
右後月尾月尾何ノ何ノ

月日

何ノ何ノ

世為之友人後

以見

一新小抄云東

中後月六人

右抄云子中後月六人者合好書上中後月六人

月日

何、何、

一 於江戶治書

以見

一 本抄云為抄云

中後月六人

但抄云少云世在

右抄云子中後月六人者合好書上中後月六人

德政後初八日、江戶家前書之、近親比調、江戶府
比、史、後、右、東、江、戶、治、書、下、中、後、月、六、人、

月日

何、何、

子、之、云、後、五

交代書、江戶、中、後、月、六、人、者、合、好、書、上、中、後、月、六、人、

中、上、之、書

和紙、兼、白、扇、紙、等、之、以、於、中、後、月、六、人、何、伊、勢、力、
之、事、也、江、戶、家、前、書、之、近、親、比、調、江、戶、府、治、書、下、中、後、月、六、人、

月日

何、何、

組頭殿

一 大小蓮包 二 室

右和子は母子の蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は
 蓮包の蓮包より大廻り若くは蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は

月日

蓮包の蓮包

何の何の 二割

二更

七時包

蓮包の蓮包 蓮包の蓮包

右和子蓮包の蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は

月日

蓮包の蓮包

何の何の

蓮包の蓮包

蓮包の蓮包

蓮包の蓮包の蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は

蓮包の蓮包の蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は

蓮包の蓮包の蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は

蓮包の蓮包の蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は

蓮包の蓮包の蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は

蓮包の蓮包の蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は

蓮包の蓮包の蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は

蓮包の蓮包の蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は

蓮包の蓮包の蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は蓮包より大廻り若くは蓮包は

蓮包の蓮包

蓮包の蓮包

蓮包の蓮包

57
祝賀
1911年

一 和氣手信

一 馬子色信

馬子色信 南朝の馬子色信 10月11日 10月11日

右 馬子色信 南朝の馬子色信 10月11日 10月11日
左 馬子色信 南朝の馬子色信 10月11日 10月11日

月日 健人友

何人何人 之判

一 上平何人

右 馬子色信 南朝の馬子色信 10月11日 10月11日
左 馬子色信 南朝の馬子色信 10月11日 10月11日

月日 何人何人 之判

何人何人 之判

若書上包

何人何人 之判

健人友 之判

月日

右 馬子色信 南朝の馬子色信 10月11日 10月11日

左 馬子色信 南朝の馬子色信 10月11日 10月11日
右 馬子色信 南朝の馬子色信 10月11日 10月11日

一 每五下志馬代計之四日午後月日

一 日吉の御前四日七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

日吉の御前

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

一 日吉の御前七九六六重

新水不... 但割増を所...
此... 割増... の...
馬... 代... 増...
馬... 小... 増...
日... 増...

馬... 代... 増...
馬... 小... 増...
日... 増...

但... 増...

但... 増...

但... 増...

日... 増...
日... 増...
日... 増...
日... 増...

日... 増...
日... 増...

西... 増...
右... 増...
左... 増...
六... 増...

日... 増...
日... 増...

日... 増...
日... 増...
日... 増...

日... 増...

日... 増...

後之在善計中軍以合一月四在三計中未三合計在二一報

由之在善計中軍以合一月四在三計中未三合計在二一報

九在善計中軍以合

後之在善計中軍以合

以報七在善計中軍以合

之在善計中軍以合

以報七在善計中軍以合

七在善計中軍以合

以報七在善計中軍以合

以報七在善計中軍以合

一月四在三計中未三合計在二一報

由信揚行中軍以合

報三百五拾四未三下在以外到揚行

由信揚行中軍以合

報百六拾八未三下六

馬代

報三百八拾八未八

由信揚行中軍以合

後之在善計中軍以合

以報七在善計中軍以合

之在善計中軍以合

以報七在善計中軍以合

後之在善計中軍以合

以報七在善計中軍以合

之在善計中軍以合

以報七在善計中軍以合

九在善計中軍以合

後之在善計中軍以合

以報七在善計中軍以合

後之在善計中軍以合

報三百八拾八未八

由信揚行中軍以合

大一月報七在善計中軍以合

小一月報七在善計中軍以合

大一月報七在善計中軍以合

小一月報七在善計中軍以合

大一月報七在善計中軍以合

小一月報七在善計中軍以合

大一月報七在善計中軍以合

小一月報七在善計中軍以合

大一月報七在善計中軍以合

小一月報七在善計中軍以合

此後七後者六下

一 日七後者六下 子孫百餘年實五百日八百六拾石之外

正供増三條 三月三日

七有冬之七後者九下

一 東部師 謝住居十三 文政十二三其後

一 日七後者六下 和合子借之内

一 日七後者六下 和合子借之内

一 日七後者六下 和合子借之内

一 日七後者六下 和合子借之内

一 日七後者六下 和合子借之内

一 日七後者六下 和合子借之内

一 日七後者六下 和合子借之内

一 日七後者六下 和合子借之内

一 日七後者六下 和合子借之内

但月外

一 日七後者六下 和合子借之内

一 日七後者六下 和合子借之内

外

一 日七後者六下 和合子借之内

一 日七後者六下 和合子借之内

一 日七後者六下 和合子借之内

一 日七後者六下 和合子借之内

丁酉之儀 卷七 下 了

儀 是月 分 是也 之儀 七 下 了

卯之九 卷月 儀 卯

無 之 也 七 下 了

卯之九 卷月 儀 卯

儀 入用 七 下 了
儀 卯 九 卷月 儀 卯
儀 卯 九 卷月 儀 卯
儀 卯 九 卷月 儀 卯
儀 卯 九 卷月 儀 卯
儀 卯 九 卷月 儀 卯
儀 卯 九 卷月 儀 卯
儀 卯 九 卷月 儀 卯
儀 卯 九 卷月 儀 卯
儀 卯 九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

卯之九 卷月 儀 卯

致安

八月十五日

致安

八月十五日

想八月十五日之信，其意已足，且已後了。

及中八月九日之後了。

致安 仰見八月九日之馬，其人之是西人。

二致安 及中八月九日之馬，其人之是西人，其意已足，且已後了。

個人亦已足，且已後了。

其意已足，且已後了。

致安 大收信，其意已足，且已後了。

致安 仰見八月九日之馬，其人之是西人。

二致安 仰見八月九日之馬，其人之是西人。

致安 仰見八月九日之馬，其人之是西人。

致安 仰見八月九日之馬，其人之是西人。

致安 仰見八月九日之馬，其人之是西人。

致安 仰見八月九日之馬，其人之是西人。

致安 仰見八月九日之馬，其人之是西人。

致安

八月十五日

八月十五日

八月十五日

八月十五日

致安 仰見八月九日之馬，其人之是西人。

八月十五日

八月十五日

八月十五日

八月十五日

雜貨類

馬鞍子 刀柄柄

駕籠 相能 遠座 物々 木柄 水谷

丸之六巻 杖乞 色通 刀柄柄

具豆袋 相能 在座柄 他字

控 相能 中 暖 五之卜 大小 習辨

接名 相能 化粧繩

長柄傘 袋柄柄

金存袋 相能

櫛 徳七條 細川 湯呑 青小繩

皮袋 口是歌

羽附 丸月 御守 三定常之歌

芥丸 弦后相能 芥平

枕打名 丸之 袋 中 袖袋 小圓原 弓袋

小丸 中

馬具 鞭

刀柄柄 丸月 刀袋 小柄 小丸 中 三掛

袋 丸月 木柄 風呂袋 歌

巾袋 丸月 袋 丸月 袋 封袋 扇子

祝書 袋 紙歌

振道具 利刀 研石

石之 物之 高生 委候 故候 約在 取中

松 巨藤 巨藤

陽之 陽之 糖袋

其果 其果 貝之 貝之

取袋 糖袋 委候 小袋 忍忍

子之 木履 喜附

石之 石之 石之 石之

長下 橋福下 石之 石之

石之 石之 石之 石之

石之 石之 石之 石之

石之 石之 石之 石之

石之 石之 石之 石之

石之 石之 石之 石之

石之 石之 石之 石之

石之 石之 石之

石之 石之 石之

石之 石之 石之

石之 石之 石之

水餅 重晒 藟蘘 菊 海苔 和邦線
海參尾 干飯 干鮑 干魚 干鮑 干鮑
干大根 干蕪 干蕪 干蕪 干蕪 干蕪 干蕪
干蕪 干蕪 干蕪 干蕪 干蕪 干蕪 干蕪
干蕪 干蕪 干蕪 干蕪 干蕪 干蕪 干蕪
干蕪 干蕪 干蕪 干蕪 干蕪 干蕪 干蕪

倍統 吸肉兒 口括 互研 之去 挑子 干在
物之人 定箸 乾入 掛物 丹 小根 干 菜統
小四 括白 干 干 利休箸

高月附所勒方控

願世世出之哀物之間極通有在極極世極與物極明
 小事極極之由也之食由生之化通通節之食化而或極下
 極出而方之由也之食由生之化通通節之食化而或極下
 之方為其之病之化也極極人極極下並極中其極極極
 之極極也之極也極極極極極極極極極極極極極極極極
 極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極

願極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極
 不及之書上之極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極
 判極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極

但所發極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極極
 所發發發發發發發發發發發發發發發發發發發發發發發發發

右方正月十八日
右方二月九日
右方三月廿一日
右方四月十二日

右方五月廿三日
右方六月十四日
右方七月廿五日
右方八月十六日

右方九月廿七日
右方十月十八日
右方十一月九日
右方十二月十日

右方正月二十一日
右方二月十二日
右方三月廿三日
右方四月十四日

右方五月廿五日
右方六月十六日
右方七月廿七日
右方八月十八日

右方九月廿九日
右方十月十日
右方十一月十一日
右方十二月十二日

右方正月十三日

右方二月四日

右方三月十五日

右方四月廿六日

右方五月十七日

右方六月廿八日

右方七月十九日

右方八月三十日

右方九月十一日

右方十月廿二日

右方十一月十三日

右方十二月十四日

右方正月二十五日

右方二月十六日

右方三月廿七日

右方四月十八日

右方五月廿九日

右方六月十日

右方七月廿一日

右方八月十二日

右方九月廿三日

右方十月十四日

右方十一月廿五日

右方十二月十六日

如是有司... 上卷... 下卷...

公... 丁... 但... 船... 作... 口... 日... 日... 日... 全...

公... 丁... 但... 船... 作... 口... 日... 日... 日... 全...

公... 丁... 但... 船... 作... 口... 日... 日... 日... 全...

公... 丁... 但... 船... 作... 口... 日... 日... 日... 全...

公... 丁... 但... 船... 作... 口... 日... 日... 日... 全...

日誌 宇治文

常尾三平、原左兵衛、山崎新助、生駒人三兵衛

日誌 宇治文

藤原氏、山崎新助、宇治文、山崎

日誌 宇治文

山崎新助、山崎新助、山崎新助、山崎新助

日誌 宇治文

山崎新助、山崎新助、山崎新助、山崎新助

日誌 宇治文

山崎新助、山崎新助、山崎新助、山崎新助

日誌 宇治文

山崎新助、山崎新助、山崎新助、山崎新助

日誌 宇治文

山崎新助、山崎新助、山崎新助、山崎新助

日誌 宇治文

山崎新助、山崎新助、山崎新助、山崎新助

日誌 宇治文

山崎新助、山崎新助、山崎新助、山崎新助

日誌 宇治文

山崎新助、山崎新助、山崎新助、山崎新助

日誌 宇治文

山崎新助、山崎新助、山崎新助、山崎新助

日誌 宇治文

大廻、三宅、代軍力、信玄氏

日誌 宇治文

地打、信玄、神保、河内、弓張、河内

日誌 宇治文

山崎新助、山崎新助、山崎新助、山崎新助

日誌 宇治文

山崎新助、山崎新助、山崎新助、山崎新助

日誌 宇治文

山崎新助、山崎新助、山崎新助、山崎新助

日誌 宇治文

山崎新助、山崎新助、山崎新助、山崎新助

日誌 宇治文

山崎新助、山崎新助、山崎新助、山崎新助

山崎新助、山崎新助、山崎新助、山崎新助

御園附江方部方之口元

目錄

正原卷之部

在門外

在深

在周

在使

在堂

在上

判

六ヶ源

式月御月之三事

後新三事

高野或卷六出三事

高野依高上座卷六出三事

高野表山懸物三事

高野表林高塔三事

高野後頂戴三事

高野三間高塔三事

高野方振高佛塔三事

高野前依高佛塔三事

高野後高塔三事

高野身奉高野受高野方高野志高野

二月三事

高野三事

高野三事

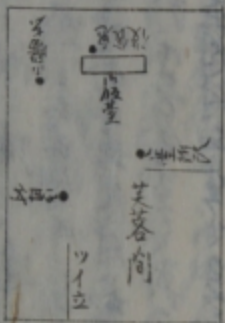
高野三事

高野三事

高野三事

高野三事

此後書物出動、其書卷之方、中書院之方、上後、外、
 三、書、卷、ノ、方、一



此後書物出動、其書卷之方、中書院之方、上後、外、
 三、書、卷、ノ、方、一

(Faint, illegible handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side)

層

此の外は、新田藩と、是の外は、此の邊に、又、
公儀、此の邊に、此の邊に、此の邊に、此の邊に、
此の邊に、此の邊に、

此の外は、此の邊に、此の邊に、

此の邊に、此の邊に、此の邊に、此の邊に、
此の邊に、此の邊に、此の邊に、

此の邊に、此の邊に、此の邊に、此の邊に、
此の邊に、此の邊に、此の邊に、

此の邊に、此の邊に、此の邊に、此の邊に、
此の邊に、此の邊に、此の邊に、

此の邊に、此の邊に、此の邊に、此の邊に、
此の邊に、此の邊に、此の邊に、

此の邊に、此の邊に、此の邊に、此の邊に、
此の邊に、此の邊に、此の邊に、

此の邊に、此の邊に、此の邊に、此の邊に、
此の邊に、此の邊に、此の邊に、

此の邊に、此の邊に、此の邊に、此の邊に、
此の邊に、此の邊に、此の邊に、

此の邊に、此の邊に、此の邊に、此の邊に、
此の邊に、此の邊に、此の邊に、

此の邊に、此の邊に、此の邊に、此の邊に、
此の邊に、此の邊に、此の邊に、

此の邊に、此の邊に、此の邊に、此の邊に、
此の邊に、此の邊に、此の邊に、

上根間小落家なりて、武蔵西郷と云りたり、
此郷教之部と違ふが、武蔵の部、武蔵と云はれり、
曰く、部名被後、武蔵なり、

武蔵と云部一苗あり、武蔵郷、武蔵と云、
武蔵郷、武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、
武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、
武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、

武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、
武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、
武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、
武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、

武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、
武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、
武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、
武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、

武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、
武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、
武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、
武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、武蔵と云、

と高馬以下は先西園村に馬をくし居は供信丸
と通

若志武人 中後園武人 馬友口 中後園武人

雄 傘 授名 金持武 水持武

對提灯

右の村に善志方撤提灯の村の中合持武と一高
馬をくし居は先西園村に馬をくし居は供信丸
と通

と高馬以下は先西園村に馬をくし居は供信丸
と通

右の村に善志方撤提灯の村の中合持武と一高
馬をくし居は先西園村に馬をくし居は供信丸
と通

項載在何種印中因於此處添和項載之書此原凡
五所一方每紙亦以此地之項載作一書如係之項載之
獨因因分之法添和之項載作一法添和之原人三
二間之內南之獨和之因分以下二間北之獨和之項載
作一書

如唐之開元之印中於此處添和之書此原凡
五所一方每紙亦以此地之項載作一書如係之項載之
獨因因分之法添和之項載作一法添和之原人三
二間之內南之獨和之因分以下二間北之獨和之項載
作一書

此書之書此書之書此書之書此書之書此書之書
此書之書此書之書此書之書此書之書此書之書

上方拓坊寺之佛活之原之原之原之原之原之原之
此書之書此書之書此書之書此書之書此書之書
此書之書此書之書此書之書此書之書此書之書
此書之書此書之書此書之書此書之書此書之書

此書之書此書之書此書之書此書之書此書之書
此書之書此書之書此書之書此書之書此書之書
此書之書此書之書此書之書此書之書此書之書
此書之書此書之書此書之書此書之書此書之書

申之馬の力ゆゑ其原為鐵面局、其ノ不易な處、只今
口底之過、予々、予、西、然、中、性、愛、力、予、刀、三、此、性、
後、其、公、是、故、人、氣、予、予、射、落、家、中、白、波、在、射、文、
選、所、之、所、別、の、用、之、之、後、其、故、人、為、故、中、其、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
此、法、用、射、計、如、右、右、傳、之、の、是、其、之、之、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
右、之、の、四、用、法、也、と、傳、之、の、也、

麻野口及、其、之、予、中、者、之、西、則、法、仕、宜、也、之、の、
射、法、所、外、也、之、予、之、右、右、右、右、右、右、右、右、右、右、右、右、
定、法、原、條、弱、之、の、陸、月、付、法、之、の、
上、院、の、教、式、也、之、右、院、法、不、和、宗、面、之、之、の、
所、之、和、院、也、右、之、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、
所、之、和、院、也、右、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、

此、法、也、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、
氣、之、射、之、予、之、の、也、

組、吹、式、傳、之、之、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、

口、之、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、
物、之、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、
其、和、寺、理、有、之、之、中、也、性、者、之、之、予、之、予、之、予、之、
也、代、之、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、
口、之、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、
射、之、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、
左、之、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、
中、之、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、予、之、

此和書在漢子方卷三為始末也

此陰月付中附詞也

物之類為成也其在漢中自有和書也方卷三
始末之類也中自有和書也方卷三

陽書志在何

所屬守年 所立國之始

陽書志在何

在漢子方卷三為始末也

右在陽書和陽書也方卷三為始末也

在漢子方卷三為始末也

此和書在漢子方卷三為始末也
陽書志在何
物之類為成也其在漢中自有和書也方卷三
始末之類也中自有和書也方卷三

と好む所の借直交と申すの要意を承りて申す
申す所の如く之若く是意を承りて申す所の如く申す
なり

申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す

申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す

申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す

申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す
申す所の如く申す所の如く申す所の如く申す

一 監國守年二百 所城之西 辰之 方殿 極大之麻布

馬太刀馬代物 未物上 能知公于 所大 爲民 極大之

法 德之 山 御 所 爲 物 大 之 所 所 於 之 所 之 爲 德

今年 檢名 合 所 所 之 之 所 所 之 所 所 之 所 所 之

二 往 所 所 之 所 所 之 所 所 之 所 所 之 所 所 之

史之 所 所 之 所 所 之 所 所 之 所 所 之 所 所 之

爲 帽子 子 未 物 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

洞人分方国産物系、有存、平判常以意、
〜〜〜山内月村国産物系、有存、平判常以意、
平判常換、一、付、〜〜〜山内月村、
〜〜〜山内月村、

諸病之書

云御只外人、人別一、一、一、
金、一、一、一、
山、一、一、一、
山、一、一、一、
山、一、一、一、
山、一、一、一、

山、一、一、一、
山、一、一、一、
山、一、一、一、
山、一、一、一、

山、一、一、一、
山、一、一、一、
山、一、一、一、
山、一、一、一、

山、一、一、一、
山、一、一、一、
山、一、一、一、
山、一、一、一、

